

第 192 回浜田市教育委員会定例会議事録

日 時：令和 3 年 5 月 27 日（木） 13：30～14：37

場 所：金城山村開発センターみどりかいかん中集会室

出席者：岡田教育長 宇津委員 金本委員 花田委員（欠席） 杉野本委員

事務局 河上部長（欠席） 猪木迫参事 草刈課長 龍河副参事 山口課長

永田副参事 鳥居室長 田中課長

書記：日ノ原係長 皆田主任主事

新型コロナウイルス感染防止に伴う出席者の調整のため、議題、報告資料のなかった、邊参事、龍河副参事、平岡副参事、濱見室長、岩崎分室長、細川分室長、馬場分室長、小松分室長は、欠席。

議事

1 教育長報告

2 議題

- (1) 浜田市立図書館協議会委員の委嘱について（資料 1）
- (2) 浜田市社会教育委員の委嘱について（資料 2）
- (3) 教育長の職務に専念する義務の免除の承認について（資料 3）

3 部長・課長等報告事項

4 その他

- (1) その他

1 教育長報告

岡田教育長

5 月の教育委員会定例会は会場を変えて初めての試みとなった。遠方ではあったが、お集まりいただきありがとうございます。ありがとうございました。

また、先週末から今週頭にかけて、小中学校の統合再編計画案の地元説明会を開催し、委員方にはご出席いただきありがとうございました。私も初めての参加であったが、それぞれの校区の保護者の方や地域の方々の空気感は少し理解できたかなと思っている。統合方針についてというより、むしろ統合条件について通学路やその後の建物はどうするのかといった不安や心配の要素が大きいと感じた。今後もより丁寧な対応に努めながら、議論の階段を一步上がっていきたいと思っている。

それではお手元の資料に基づいて報告をさせていただきます。

- ① 5月6日(木) 懸案事項検討会議(子育て支援課、学力向上推進室)

先月に引き続いて、教育委員会内部の懸案事項検討会議を開催した。また、指導主事の先生方、一人ひとりと面談を実施して幼児教育や学力の向上、生徒指導、特別支援教育、また地域学校連携、社会教育等の色々な課題について現状の把握や取組方針の確認を行った。

- ② 5月7日(金)、5月19日(水) 浜田教育事務所長学校訪問(同行)

浜田教育事務所長に同行し学校訪問している。

- ③ 5月21日(金) 教職員評価システム面接(教育長室)

- ④ 5月25日(火) 教職員評価システム管理職面接(教育長室)

教職員の人事評価システムに沿って、校長、教頭との面接を行っている。明日も面接の予定が入っている。これにより25校の学校全ての経営方針、目標達成の手立て等の確認をさせてもらっている。委員方との学校訪問であるが、議会の関係で7月に実施予定である。その頃には、GIGA スクール構想で導入した情報機器の活用も各学校で始まっていると思う。

5月で教育長就任2か月目になるが、まだまだ教育委員会や学校の現状について腹入れをするために費やした期間であったと思っている。また、学校行事については、各校長が慎重に判断されて、コロナウイルス感染予防対策を徹底した上で、当初の計画どおりに何とか実施できていると聞いた。私も5月8日に行われた第70回石見地区中学校柔道大会、また5月11日に行われた第48回石見地区中学校軟式野球大会等も見学させていただいている。

修学旅行の訪問先についても感染が少ない山陰地方で行う配慮もされている。ただ、6月に実施を予定している学校もあり、今、感染状況が少し心配な状況ではある。1日も早く感染が収束することを祈るばかりである。

- ⑤ 5月17日(月) 国県重点要望(島根県教育庁)

島根県知事と島根県教育長に対する国県要望を行っている。これはGIGA スクール構想で整備をした情報機器の更新、あるいはランニングコストに対して国への支援を働きかけていたきたいという要望、それから県下で統一した校務支援システムの導入に向けて県で調整をお願いしたいといった要望であ

った。情報通信機器の更新については、県立高校等も整備されているため、タイミングをみて国に働きかけるということであった。一方で校務支援システムについては、先行して導入している松江市や出雲市もあり、それぞれの自治体でネットワーク環境も異なるため、県下の統一システムは非常に難しいという回答であった。ただ、何か県で調整できることはないだろうかということで、担当者との協議の場を持ちたいと県の教育長が発言されているため、その時に浜田市としての意見も述べさせていただこうと思っている。

実は国県要望の日に、松江市教育委員会に無理を言って古江小学校の校務支援システムを見せていただいている。松江市教育委員会の方も同席をされて、そこで事務職員に実際に見せていただき、先生方へのアンケートの内容等も聞かせていただいた。非常に負担が軽くなったということ、教務主任、養護教諭、事務職員の方が言われていた。教職員の働き方改革が今、叫ばれているが、このシステム導入が浜田市にとっても重要な検討事項の1つであるという思いを強くしたところである。懸案事項は非常に多いが、一つずつ解決に向けて行動していきたいと思っている。

- ⑥ 5月26日（水）高齢者叙勲伝達（元松原小学校 森田純一氏）
森田純一氏に瑞宝双光章叙勲の伝達を行った。88歳で米寿になられたがお元気なご様子であった。

- ⑦ 5月26日（水）浜田教育事務所管内教育施策説明会（浜田教育センター）

島根県の教育施設の説明会で新田教育長の講話があり、その内容について印象に残ったことをお伝えしたいと思う。

子どもたちが生きるこれからの時代に「2つの視点」が重要だということであった。1つは「Society5.0」である。1.0は狩猟社会、そこから時代を追って農耕社会、工業社会、情報社会というように社会が大きく形態を変えつつあるが、仮想空間と現実空間が融合した人間中心の社会になっていく、そこをどう生き抜いていくかという視点が1つ。それから人口減少の社会が進む中で、子どもたちの居り場をどう見つけていくかという2つの視点であった。

こうした社会を生き抜くためには、教職員は子どもたちに今までのやり方ではなく変化を与える必要がある。そして子

どもたちも自ら課題や展望を見出して、粘り強く挑戦して学ぶ意識に変容していく様に働きかけることが必要ではないかということであった。そのために県としての魅力化をどう進めるかということであるが、新学習指導要領に定める主体的で対話的で深い学びの実現のために、ふるさと島根の魅力を最大限に活かしていこうということで、キーワードは「地域」である。この地域にも子どもたちの活躍の場があり、子どもを実践者として学びの前に誘い、その中で島根県の役に立ちたいという思いを育むことが重要である。また、大人もこの地域に貢献する姿勢や仕事ぶりを見せて、子どもたちがそれを見て将来の夢を見つけていく。

特に印象に残ったことが、幼児教育から義務教育、高校教育それぞれの課程において、地域との関係性を5つの英語の前置詞で表現をしていた。年齢が上がっていくとともに、「in」これは地域の中で体験してしっかり地域に浸かっていくという意味である。次の段階が「about」地域について知る、伝えるである。続いて「for」地域のために行動し実践する。そして「with」地域とともに未来を描いていこう。今は特に、高校教育の中で県が目指していることがこの場面ではないかと思っていて、最終的に「toward」自分の未来に向かっていくんだと、未来に羽ばたく心豊かな思考を育てていくということはこのような前置詞で表現されていて、非常に印象に残ったことである。今日の議題にも挙がっているが、市長との総合教育会議等もあり、その中で魅力化についても委員方から意見が寄せられると思うが、少し新田教育長の講話の中で印象に残ったこともお伝えさせていただいて私からの報告とさせていただきます。

報告は以上であるが、今のところでご質問等はあるか。

質疑応答

杉野本委員

浜田教育事務所長と同行されて学校訪問されたということで次は我々もまた学校訪問するが、教育事務所はどの様なテーマで質問等されていたのか。

岡田教育長

教育事務所からは学校の中で取り組む目標に対して、どの様な手立てで達成していくのかということを経理先生に聞かれていた。教頭先生には、そのための組織の運営の中で気遣っていかな

杉野本委員
宇津委員

ければいけない点について聞き取られていた。

承知した。

教育長報告の中で感心したことであるが、指導主事の先生方、一人ひとりと面談をされて色々な思いをお聞きになったということで、私は長い間こういう立場にいたが、私は経験したことがない。時々は会ってお話することはあったが、個別に面談を実施し特段の話をするという経験はなかったため、非常にありがたい。

おおむね、学校現場を経験した者が指導主事として教育委員会に入っているが、それぞれ思いがあると思うため、それを聞いていただけるというのは非常にありがたく、活かしていただけたらという期待もした。ありがとうございました。

岡田教育長

私も7年ぶりに戻ってきて、非常に多くの指導主事の先生方が教育委員会に在籍していると実感している。行政の仕事や行政の課題を分かっている、現場をよく知っている指導主事の先生方が具体的にどういった仕事をして、どういう課題を認識しているのかを聞いてみて、やはり良かったと思った。今日鳥居先生もおられるが、学力向上のための課題に対して今、学力向上推進室のスタッフはどのように臨んでいるかとか、特別支援については仙田先生に入っただき、義務教育の前の幼児教育のところからどの様に特別支援を変えていくのかというご意見を伺ったり、それから社会教育についても、生涯学習課の社会教育機能が市長部局に移り、学校と社会教育の連携は学校教育課に残ったが、その連携具合はどうしていくかとか、色々な課題や着眼点を伝えていただいたため、一つずつどうしていくか考えていきたいと思っている。

宇津委員
岡田教育長
各委員

ありがとうございました。

その他はよろしいか。

特になし。

2 議題

(1) 浜田市立図書館協議会委員の委嘱について（資料1）

草刈課長

資料1をご覧いただき、4月の定例会の時に2名の方の委嘱について承認をいただいたが、その時に所属団体の都合上、人選ができてなかった残りの2名の方の委嘱について、ご承認いただきたいものである。

選出区分については、社会教育関係者で1人目の方は金山正司

	<p>さん、2人目の方が内田浩史さんである。金山正司さんは浜田市まちづくりセンター合同連絡会からの選出、内田浩史さんは浜田市PTA 联合会からの選出である。</p> <p>任期については、資料に記載されているとおり、以前の委員の残りの期間ということで令和4年3月31日までである。</p>
<p>岡田教育長 宇津委員</p>	<p>委員方からご意見ご質問等あればお願いします。</p> <p>合同連絡会という言葉は今まで使っていなかった気がするが、公民館連絡会のイメージでいいか。</p>
<p>永田副参事</p>	<p>そうである。浜田市まちづくりセンター合同連絡会とは、これまでは公民館の市公連という組織があったが、公民館がまちづくりセンターに変わったというところで解散をして、新たに地域ごとに浜田では浜田のまちづくりセンターの連絡会、金城では金城での連絡会というのを5つ作って、その連合体というかたちで今年度からスタートしている。まちづくりセンター合同連絡会が市全体の組織ということで、以前の市公連にかわる組織として今年度4月からスタートしている。</p>
<p>岡田教育長</p>	<p>その他はよろしいか。</p> <p>それでは2名の方への委嘱について、承認いただけるということでよろしいか。</p>
<p>各委員 岡田教育長</p>	<p>全会一致で承認</p> <p>ありがとうございました。</p>

(2) 浜田市社会教育委員の委嘱について (資料2)

<p>永田副参事</p>	<p>資料2をご覧いただき、先ほどの図書館協議会委員と同様に、今年度、浜田市PTA 联合会役員が交代され、これまで沖田委員に社会教育委員を委嘱していたが、新たに大谷海さんに委員の委嘱をさせていただきたいものである。</p> <p>それからもう一方、瀧口委員におかれては昨年12月末で公民館長を退職され、その後空席であったが、先ほど説明をさせていただいたように、まちづくりセンター合同連絡会ができて、周布まちづくりセンター長である長元爲利さんに新たに社会教育委員として委嘱をさせていただきたいと考えている。</p> <p>資料にお二方を加えた13名の委員の方のお名前と所属団体等を載せているため、またご覧いただきたいと思う。</p> <p>任期については、令和4年3月31日までである。説明につい</p>
--------------	---

岡田教育長	ては以上である。 社会教育委員の委嘱について、委員方からご意見ご質問等あればお願いします。
永田副参事 岡田教育長	選出区分については、これまでと変わってないか。 そうである。選出区分については、これまでと変わっていない。 それでは浜田市社会教育委員として 2 名の方に委嘱するという ことで承認いただけるか。
各委員	全会一致で承認
岡田教育長	ありがとうございました。

(3) 教育長の職務に専念する義務の免除の承認について (資料 3)

日ノ原係長	平成 27 年度に地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、いわゆる新教育委員会制度ということで、浜田市も平成 27 年 4 月 1 日から新教育長を設置した。そこから教育長の職務に専念する義務という部分があるが、この免除について教育委員会で承認又は否認を行ってもらおうということになっているため、この度 5 月 31 日に人間ドックを受診ということで、職務専念義務免除の承認をいただきたいものである。
岡田教育長	来週の月曜日であるが、人間ドックを受診したいと思っている。 承認いただけるか。
各委員	全会一致で承認
岡田教育長	ありがとうございました。

3 部長・課長等報告事項

草刈課長	行事等予定表 (資料 4) 期間は 5 月 27 日から 6 月 30 日までの予定である。教育委員の欄に丸が付いているところは、委員方に出席していただきたいものである。最初に丸が付いている 5 月 28 日 (金) 浜田市中学校総合体育大会 (水泳) のところから体育大会が始まり、下から 4 行目の 6 月 13 日 (日) 浜田市中学校総合体育大会 (剣道) までである。本日、資料が配られていると思うが、体育大会の日程である。 それから前回の定例会でお話させていただいたが、6 月 3 日に総合教育会議が庁議室で開催されるため、ご出席をお願いします。 続いて、6 月 26 日 (土) 三浦龍司選手応援企画 (パブリックビューイング) が浜田市野球場で行われる。時間がまだ決まっ
------	--

岡田教育長

てないため、開催日までのところで文書を送付してお知らせすると聞いている。

最後に6月30日（水）第193回教育委員会定例会がある。

いよいよ中学校も総合体育大会が始まる。去年はコロナの影響で中々開催できなかったが、今年はコロナ感染対策に注意をしつつ、コロナウイルスが心配ではあるが、対策をしっかりとしながら臨むということである。委員方についても可能な範囲で中学生が活躍する場面を見ていただけたらと思う。

山口課長

本日、お手元に日程を配らせてもらった。もう1枚添付しているものに様式がついているが、コロナの関係もあって開会式は開会宣言等のみで縮小し、来賓は呼ばない運営で行う。委員方が来場される際は、来場者確認書と健康観察の部分を記入していただき、受付に提出していただければ会場に入れるようになっているため、ご活用いただければと思う。

金本委員

保護者についても同様か。

山口課長

保護者については保護者用があり、学校から周知されている。競技によっては人数制限があり、体操については保護者2名まで等のルールがあるが、その辺りは学校から周知されている。

金本委員

今、高校総体をしているが、室内の競技は3年生の保護者のみといった規定があるようだが、中学校はないか。

山口課長

学年の縛りはないと聞いている。保護者についても観覧できる。

岡田教育長

コロナの状況を見ながら、もしかしたら変わる可能性もあるが、今のところはそういう計画のようである。

猪木迫参事

提言書 こどもの可能性を育む幼児教育について（資料5）

浜田市議会総務文教委員会から5月19日に「こどもの可能性を育む幼児教育について～幼児教育振興アクションプランの策定と着実な実施に向けて～」ということで提言書をいただいている。

ページを捲っていただき、経過としては教育委員会で令和2年から令和3年度の初めごろまでのところで、計33回の色々な会を催している。また、それぞれの保育園と幼稚園に聞き取りを行い、提言を行っていただいた。

提言内容については大きく2点あり、1点目は「浜田市の幼

岡田教育長

児教育に対する理念の明確化について」である。浜田市の教育振興計画の中で幼児教育についてはあまり記載がないことから、その部分に重点を照らして記載してほしいということが主な内容である。それから浜田市幼児教育について、アクションプランの策定をしてほしいということで、アクションプランについては、充実と策定をした後の浜田市幼児教育センターの開設準備室の設置等を掲げておられる。

また2点目については、5ページをご覧ください、「公立幼稚園におけるサービスの拡充と新園建設について」である。公立幼稚園におけるサービスの拡充については、色々と話し合ってきているが、預かり保育と給食を挙げられている。また、統合幼稚園、新園建設の具体化を挙げておられる。今後、教育委員会としてこの提言を受けて、検討が必要な事項及び既に進めている事項もあるため、本日は提言書全文を付しているのを読んでいただき、次回の定例会でご意見をいただきたいと思っている。よろしく願います。

総務文教委員会が幼稚園のあり方について、色々と時間をかけて意見交換をされてきた。その結果として今回提言をいただいた。当然、私どもも総務文教委員会の委員の方々に事情を説明させていただいたり、議論をさせていただいたりする中で、この様なまとめをされたということである。今、説明があった様に、1点目は浜田市教育振興計画自体が義務教育以降のところは少し手厚く書かれてあるが、就学前については少し物足りない部分があったという思いがしている。提言をいただいて、改めて0歳児から就学に至るまでの教育をどうしていくのかということはしっかり議論していく必要があると思っている。

2点目の提言については、保護者会の代表の方からこれまでも要望が毎年出されているが、特にその中でも給食の関係と保育の延長についてのご意見が続いて出ている。それに対して検討はしているものの結果として進んでいない状況であった。このことをどう受け止めて、どうしていくかということが大きな課題であると思っている。協議については内部では行っており、委員方からのご意見も聞かせていただきながら、教育委員会としての考え方をまとめていきたいと思っている。総務文教委員会の中でも特に幼児教育センターの機能について、公立の幼稚園もあれば私立の幼稚園も保育所もある中で、幼児教育セ

ンターが決して公立の幼稚園のことだけではなく、その年代の子どもたちにとってはどういった機能を発揮していくのかということをしっかり考えなければならないといけないということであった。また、次回以降の定例会でご意見等をいただければと思っている。

提言書について、本日の段階でご意見ご質問があれば願います。

金本委員
猪木迫参事

この提言書を受けて、どういう方向にこれから進むのか。

事前に教育委員会の中でも、しっかり話をさせてもらってから公立幼稚園の統合についても決めている。また、新園の建設については中々昨年の段階で建設するとも言えない段階であったが、この提言を受けて今後はどの様にしていくのかを早い段階で決めて、新園の建設については予算のこともあるため、早急に進めていかなければならないと思っている。今の幼児教育センターについては令和5年度から設置するという事で、提言の中で開設準備室等、色々出てきているため、もう1度こちらから案を提案させていただいて、検討していただきたいと思っている。

金本委員

議会の総務文教委員会が研究しているということは聞いていたが、具体的にこういう提言書を見たのは初めてだったので、これからどういう方向に行くのかなと思った。

岡田教育長

いただいた提言内容を踏まえて、これから教育委員会としてどう対応していくのかをしっかりと議論していきたいと思う。また提言書をお読み込みいただいた上で、ご意見を伺いたいのでご協力をよろしく願います。

各委員

その他はよろしいか。

特になし。

山口課長

令和3年度園児・児童・生徒数一覧（資料6）

5月1日に学校基本調査で児童生徒数が確定した。資料にあるとおり、今年度5月1日の時点で3,667名が在籍している。今年の傾向の特徴であるが、上段の特別支援学級の児童生徒数は年々増えている状況である。平成28年からこういった表に変えているが、特別支援学級に入級する生徒が増えている認識は承知していただきたい。また小学校についても5校ほど複式学級が生じている。どうしても基準が16名、小学校1、2年生

が 8 名に満たない学級は複式になる。この傾向は、今後の小規模校については複式で進むのかなと認識している。中学校についてもほぼ横ばいである。今年度から小学 2 年生は 32 名の学級編制となり、今まで 30 名の学級編制だった部分に変更になり、影響が出ているのが長浜小学校の 2 年生である。ちょうど 32 名であり、今までは 30 名で 2 クラスだったところが 1 クラスになっている。

中学校においては、今年度から中学 3 年生が今までは 35 名の学級編制であったが、38 名の学級編制となった。特に第一中学校の 3 年生は 2 年生までは 4 クラスであったが、3 年生になったら 3 クラスになり影響を受けている。来年度以降、中学校 2 年生においても 38 名の学級編制になることが決まっているため、今の 1 年生は基本的には影響はないと思うが、学級編制の基準が変わって 1 クラスの人数が増える傾向がある。きめ細やかな部分で少し影響がでるかなという状況である。

市内中学校の進学等の状況について（資料 7）

今年の 3 月で卒業する中学生の進路状況について取りまとめたものである。今年は 411 名が卒業し、市内の教育機関への進学率は 63% である。年々人数は減ってきているが、パーセント的には今年は多くの割合の子どもたちが市内の教育機関に進学したと認識している。今年度の特徴であるが、高等専門学校に 16 名が進学している。本来であれば高専に進学、浜田高校の理数科に進学する子どもの今年の特徴としては、高専への進学が多い。実際に浜田高校の校長から話を聞いたが、浜田高校を受験した 8 名は高専に進学したとのことで、受験はしたけど結果的には高専に進んだという状況である。全体で各学校の学校数が変わらない中、子どもが減る中で、どこの学校も浜田高校も含めて定員の確保が課題であると担当課として思っている。

令和 2 年度「浜田市の人物読本ふるさと 50 人」活用について（資料 8）

ふるさと 50 人についての活用状況をまとめている。今年も小学校を中心に、5 月に新 4 年生に配布している。国語、社会、総合学習等で活用していただいている。

岡田教育長

裏面には活用人物の一覧を載せているが、どうしても地域の特徴等が出て、その地域の方を学ぶ認識である。下段には学年ごとにどういった方を学習したかというところで、オリンピックで竹本正男さんや、各地域でふるさと学習があるため、それぞれの地域の方の学びをされている。

資料 6 から資料 8 まで報告があった。一括してご質問ご意見等があればお願いします。

資料 7、市内中学校の進学等の状況についてだが、今年は教育の魅力化コンソーシアムを立ち上げて、その中でも市内の高校への進学率を高めたいという 1 つの目的を持って活動している。したがって、今の状況についても少しご理解をいただければと思う。今年は特に市内の県立高校等に進学した割合が例年より少し高まっているとは言え、約 4 割の子どもは市外に進学している現状がある。この辺りをしっかり受け止めてやっていかなければならないと思っている。

宇津委員

この中で矢上高校に進学している子どもが近年増えている。今年度は 9 名で若干減ってはいるが、以前はこの流れはなかったのではないか。旭の地域から山を越して矢上高校に行くケースはあったもののこんなに多くなかった。藤本前委員が以前、野球で進学を選んだのではないかということ言われていたが、その辺りも特徴を活かした学校運営をされている表れかなという気がしている。

山口課長

旭については、特に市木方面に矢上高校から送迎バスも出ており、基本的に生活圏が市木方面であると、矢上が近いということで矢上高校に進学する昔からの流れはある。それから送迎バスの利便性もある。特に過去、旧今市分校が浜田高校にはあるが、市内からも今市分校に進学する流れもあって、野球部が活躍する前から、浜田市内から矢上高校へ進学したり、農業もあったりするので、第一中学校からも今年も進学している。基本は旭の地域に住んでいる子が進学しているイメージである。

岡田教育長

生活圏でスーパーに行くための送迎のバスも出ていたりするようである。やはり通学用のバスが出ているという影響もあると思う。

金本委員

送迎バスについては、石見智翠館高校、明誠高校と私立については 100% 近く送迎バスが出ている。

山口課長

石見智翠館高校も明誠高校も金城、旭の奥まで朝早くから夜

金本委員
岡田教育長

遅くまで送迎バスが出ている。特に石見交通の利便性が悪くなった地域には、家の近くまでバスが来てくれるということで、同じ普通高校でも浜田高校ではなく石見智翠館高校を選ぶ方もおられる。交通の利便性で選択されたのは実際にある。

スクールバスも高校の魅力化に繋がっていると思う。

高校の魅力化コンソーシアムの立ち上げの会の時にもそのような意見があった。

金本委員
山口課長

浜田高校の寮はどのくらい利用されているか。

寮自体は運営されているが、どのくらい利用があるのかは把握していない。今、浜田高校の話がでたが、今年度入学から普通科が1クラス減となり5クラスとなった。今年の現象として定員が1倍を超えた。その中で、校長いわく1倍を超えると危機感が生じて一生懸命で、良い学生がくると。やはり理数科が定員割れしたことを懸念され、学校としては定員を必ず超えるということが命題で、次年度以降いかに増やすかということで、魅力化をしたいという気持ちを校長は持っておられた。

岡田教育長

先ほどの寮の稼働率については分かる範囲で聞いておいてほしい。特に高校の校区の垣根を超えて受けられるようになったため、そのような流れが増えてきている。実態は分からないため、情報提供をよろしく願います。

山口課長
宇津委員

承知した。

今年度の新生が石見智翠館高校に33名進学しているが、3学年、前年度と前々年度と加えると相当の人数の生徒が現在通学しているということになる。これは浜田市としては寂しい。

岡田教育長

子どもたちに選ばれる学校にしていくために知恵を出していかなければならない。

各委員

その他はよろしいか。

特になし。

鳥居室長

第2回(5月)市校長会資料(資料9)

5月の校長会の資料を報告させていただく。本日、報道等でご承知であると思うが、全国学力学習状況調査が行われている。今年度は小学校が国語と算数、中学校が国語と数学、そして意識調査であった。もう1つは校長先生用の学校質問紙があり、調査が行われている。これまでのところで学校からトラブルや不具合があった等の報告は受けていないため、現在のところ

ろは順調に終わったと認識している。

資料9をご覧ください、今年度の学力向上対策についてである。1.「子どもの声でつくる授業」の構想を作った。ページを1枚捲っていただき、資料A-1、2枚捲っていただくとそれを補足するための資料編A-2を載せており、基本編と資料編と分けて各学校に提案している。

最初のページに戻っていただき、(1)本年度の基本方針として、子どもの声でつくる授業を推進していくということで、2点を重点として決めて取り組んでいく。1点目は「学習への見通しを立てる営み」を1つの柱とする。これについては昨年度から提案をして各学校で実践していただいているところではあるが、まだまだ不十分である。授業を始めるに当たっての取りかかりの部分を継続して行うことが大切である。もう1点は、「考えを深め広げる営み」である。これは今年度新しく打ち出してきたところである。昨年度に授業を見てまわったが、話し合いはなされている、ペア学習も行われている、グループ学習も盛んに行われていて子どもたちは話し合いをしている。だが、傍から見ていて子どもたちの脳が本当にアクティブになっているのかというと甚だ疑問が残った。要するに話し合いを通じて、しっかり考えを深めたり、別の考え方で別の発想が閃いたりするところまで至っていない。この辺りが学力に影響しているのではないかとということで、もう1つの柱として定めた。

もう1つ確認として、学習指導要領の全ての主語は教師ではなく、「子ども」になっている。子どもが主体的で対話的で深い学びを生む。「教師が」とは全く書いていない。したがって、主語は子どもであるため、「子どもの声でつくる授業」として徹底しているところである。

今回、基本方針を出して6月には「子どもの声でつくる授業」というからには、子どもの声に耳を傾ける教師の姿勢が必要である。子どもによる授業評価は必要ではないかと例を示しながら提案する予定にしている。また、学級経営についても資料を出してしっかり取り組んでいただく予定にしている。

今のことを進めるために(2)説明のための学校訪問ということで既に始めているが、学力向上推進室の指導主事等々が学校に出かけて行って、直接学校でパワーポイントを使いながら方針についての説明を実施している。

岡田教育長

2. 浜田地区戦没者遺族連合会の方々から要望があった。平和の大切さを子や孫に語り継いでいく語り部の活動をしていきたいため、是非協力をお願いしたいということであった。校長先生方には希望があればということで話をさせていただいた。先日、会長の方から電話をいただき、希望としては10月以降から始めたいということで、9月の校長会で再度周知していきたいと思っている。

3. 浜田市図書館を使った「調べる学習コンクール」について、今年も実施する。計画等々について周知する資料も作成し、説明させていただいている。

先ほど説明された「子どもの声でつくる授業」構想の中で、特に今年度で新規で取り組む内容も踏まえて、鳥居室長から説明をいただいた。

この件に関してご意見ご質問等あるか。

前回の定例会でも説明があったが、今、学力向上推進室の指導主事の先生方が学校へ授業研究に出かけられる時に担当教科を超えて先生方も一緒に見合う。その時にはそれぞれの専門授業がどう進んでいるのかだけではなく、その授業に向き合う子どもたちの脳が本当に活性化しているどうかを中心に見ていこうということである。この間、指導主事の先生方とヒアリングをさせていただいた時に、皆さんがそういう思いを持っておられて、ここが新しい取組だと思う。協調学習については、中学校に広まってきた感じはあるが、小学校への浸透も図りたいと思っているため、学力向上推進室として今年度特に力を入れている取組の1つである。

鳥居室長

協調学習については小学校が今一つであるため、その辺もテコ入れしていかなければならないと思っている。

宇津委員

子どもの声を聞くということが、指導者としては非常に大事であるが、それを聞けるかどうか。耳から入ってくる聞くではなく、本当に心から聴けるかどうかである。そのことが次のステップへの力になると思う。そういう姿勢で臨んでいる先生の下で学んでいる子どもたちが、その姿や様子を見て友達同士の話の聞くということに結び付いていく気がしている。おしゃべりをすることも大事であるが、指導者も含めて「聴く」という力を付けていくことが非常に大事である気がしている。

田中課長

東京 2020 オリンピック聖火リレーの実施について (資料 10)

島根県内での聖火リレーが、令和 3 年 5 月 15 日 (土)、16 日 (日) の 2 日間にかけて実施をされた。浜田市では 5 月 15 日 (土) の午後 2 時 14 分から山陰浜田港公設市場前をスタートし、ゴールの浜田市役所前までの約 2.6 km を 12 人のランナーが聖火をつないで走られた。

スタートに先立ち実施されたミニセレブレーションでは、華美なイベント等はせず久保田市長があいさつを述べた後、第 1 ランナーである齋藤博之さんが意気込みを語られ、スタートしたところである。

当日については、交通規制等でご迷惑をおかけしたところもあるが、当日は小雨の中、無事に開催することができた。皆様のご協力に感謝いたします。

三浦龍司選手の日本新記録樹立について (資料 11)

5 月 9 日 (日) に、東京の国立競技場で開催された東京五輪のテストイベントとして競技が開催された。浜田市出身の三浦龍司選手 (現在は順天堂大学 2 年生) が男子 3000m 障害において、8 分 17 秒 46 の日本新記録を樹立して見事優勝された。18 年ぶりの日本記録更新となり、6 月に開催される日本選手権で 3 位以内に入れば東京五輪代表に内定する段階である。関連して資料の中段にも記載をしているが、日本陸上競技選手権大会が 6 月 24 日から 27 日に行われる。3000m 障害が実施されるのは、6 月 26 日 (土) と決定しているが、まだ選手のエントリー期間が月末までであるため、競技の時間は未定である。時間等の詳細が決まり次第、改めて委員方にはお知らせしたいと思う。当日は野球場を使ってパブリックビューイングを開催する予定としている。こういった時であるため、招待者としては県議会議員、市議会議員、副議長、それから所管の総務文教委員会の委員長、副委員長に留める。委員方には時間等が決定したら詳細をお知らせするかたちにさせていただければと思う。おおむね 6 月上旬頃のご案内になるかと思う。よろしく願います。

令和 2 年度「浜田市の歴史読本ふるさと浜田の歩み」の活用について (資料 12)

副読本として発行した「浜田市の歴史読本ふるさと浜田の歩

み」は、ふるさと郷育の推進を目的に令和2年度から歴史の学習を行う小学校6年生を対象に配布をしている。各小学校において、どのように活用していただいたのかアンケート調査を行ったので報告する。小学校は、複式学級のために活用できなかった小学校もあるが、16校中11校において活用していただいた。活用については、社会科、理科といった教科学習や総合的な学習の時間、それから朝学習や自主学習の題材として活用されている。

裏面をご覧ください、アンケート結果であるが、学校数5校以上で利用された項目として、まず1番目に浜田の大地で石見壘ヶ浦の関係である。2番目から6番目までは浜田市の縄文時代から飛鳥時代といったところで、7番目の奈良時代は石見国分寺、国分尼寺の関係である。それから10番目に鎌倉時代から安土桃山時代の中国地方での動き、それから26番は街道と参勤交代、それから37番、38番の戦後の浜田、戦後の暮らしについてが主に活用されていた。全体に浜田の古代や戦後の浜田というところが多く利用されている傾向であった。アンケートに伴い、いただいた意見については、下段に掲載をしているため、またご覧くださいと思う。コロナ禍ということで、先生方との話し合いができない状況にあるが、今後も活用を図っていただけるよう務めて参りたいと考えている。

浜田市浜田城資料館の運営について（資料13）

令和元年10月から直営により運営してきたが、より効果的、効率的に運営できる団体に委託できるように進めてきた。

展示する資料については、浜田市の浜田郷土資料館に収蔵されている資料を活用していることから、郷土資料館の指定管理者である浜田市文化協会に業務を委託できないかということで協議を重ねてきた。併せて、今年度の当初予算についても業務委託をする前提で予算計上していたが、文化協会との協議の結果、業務量等の面から合意に至らなかった。そのため、令和3年度については業務委託を行わず、引き続き直営として事業の予算内で委託料として計上していた金額を直営での人件費や事務費に流用して運営を行うこととした。

今後についてであるが、来年度以降のこともあるため、改めて浜田市文化協会とさらに協議を重ねて、より効果的な運営が

岡田教育長	可能な方法を検討していきたいと考えている。
金本委員	資料10から資料13までのところで委員方からご意見ご質問等あればお願いします。
田中課長	三浦龍司選手は3位以内に入賞できなかった場合はどうなるのか。
田中課長	関係者の話では既に日本新記録を樹立されているので、今の時点でも非常に確率は高いと言われている。3位以内に入れば確実ではあるが、仮に3位以内に入れなくても可能性は0ではないとも聞いている。
金本委員	パブリックビューイングも開催されるということで、いい結果が出せるといいなと思う。
田中課長	前は怪我や不測の事態もあったため、体調管理は十分にしていたきたいと思う。パブリックビューイングを開催する際にはコロナ禍ということで、万全の体制をとって実施したいと思っている。
岡田教育長 各委員	是非、頑張ってもらいたい。その他はよろしいか。 特になし。

4 その他

(1) その他

岡田教育長	事務局からその他何かあるか。
日ノ原係長	特になし。
岡田教育長	委員方からご報告やご質問があればお願いします。
各委員	特になし。

次回定例会日程

定例会 6月30日(木) 13時30分から 北分庁舎2階会議室1

次々回定例会日程

定例会 7月27日(火) 13時30分から 北分庁舎2階会議室1

14:37 終了